

報道関係者 各位

北海道札幌市におけるオセルタミビル(商品名:タミフル)耐性を示す

新型インフルエンザウイルスについて

北海道札幌市から、タミフル耐性を示すH275Yの遺伝子変異を持つ新型インフルエンザウイルスが分離され、薬剤感受性試験により薬剤耐性が確認されたとの報告がありましたので、その概要について、別紙のとおり、情報提供します。

(広 報 メ モ)

平成21年(2009年)10月7日(水)
保健福祉局保健所感染症総合対策課

抗インフルエンザウイルス薬「タミフル」に耐性を示す 新型インフルエンザ（インフルエンザA／H1N1）の確認について

札幌市衛生研究所にて実施しているウイルスサーベイランスにおいて、患者から検出された新型インフルエンザウイルスについて、オセルタミビル（商品名：タミフル）に対する耐性が確認されましたので、その概要をお知らせいたします。

なお、厚生労働省によれば、タミフルに対する耐性を持つ遺伝子変異は、ウイルスの重篤度（病原性）には、直接影響を及ぼすものではないとされています。

1 ウイルス検出の概要

- ・ 9月25日、札幌市衛生研究所における検査（遺伝子解析）において、8月22日に採取した咽頭ぬぐい液から検出された新型インフルエンザウイルスから、オセルタミビル耐性マーカーH275Yを検出。
- ・ 10月6日、国立感染症研究所における薬剤感受性試験において、上記ウイルスのタミフル耐性、ザナミビル（商品名：リレンザ）感受性を確認。

2 経過

- ・ 患者（10代、女性）は、8月20日に咳症状が出現。8月22日に発熱（38℃）し、札幌市内の医療機関を受診。インフルエンザ簡易迅速検査でA（+）を確認し、リレンザを投与され、翌日には解熱。
- ・ その後、家族で発症者は認めず、患者の周辺地域において、これまでに、タミフル内服後に症状が改善しなかった者や患者数の異常な増加、集積等は確認されず、家族を含めた周囲への感染拡大は認められなかった。

3 その他の検査状況

平成21年10月7日現在、これまでに札幌市衛生研究所で検出された新型インフルエンザウイルス149株（検体採取日：6月11日～9月8日）について、タミフル耐性の調査を行った結果、患者が受診した医療機関から提出された検体のウイルスを含め、タミフルに対する耐性を持つ遺伝子変異を確認したのは、この1検体以外は確認されていない。

【問い合わせ先】

新型インフルエンザ全般について：保健所感染症総合対策課 細海、横澤（TEL 622-5199）
検査方法等について：衛生研究所生活科学課（TEL 841-8875）